

令和6年度（2024年度）学校版環境ISOへの取組

< 学校名：山鹿市立山鹿中学校 >

2 取組の概要報告

(1) 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		教室にはイラストを示した宣言文を掲示した。委員会から宣言に沿ったポスターを作成し、啓発を図った。また、掃除時の節水や教室の照明消灯、給食の残菜0についても、随時、学級指導、校内放送において徹底を図っている。教職員に対しても、環境整備を行い、掲示物等を通して呼びかけを行った。
行動	   	<p>①環境 ISO 推進ポスターの作成 7 月に全校生徒に環境についての意識調査を行った。その結果をもとに、環境委員によって啓発ポスターの作成を行った。ポスターの内容や掲示場所など、目にとまる場所、内容を生徒目線で考え、作成した。</p> <p>②節水・節電への取組 全ての場所でバケツを利用して雑巾を洗い、コップ一杯の水で歯磨きを行うように取り組んだ。昼休みや掃除の時間には、教室・廊下の電灯を消灯して節電への意識を高めた。冷暖房については、常時窓を開けて換気していたこともあり、設定温度の細やかな管理は難しかったものの、使用しないときの電源管理は徹底するよう取り組んだ。</p> <p>③校内・校庭の花いっぱい活動 今年度も夏と秋・冬用の花を花壇に植えた。環境委員を中心に雑草の処理などを行った。水やりや除草作業に加え、今年度は花が長くきれいに育つように、土壌の整備も丁寧に行った。</p> <p>④地域の環境美化 始業前の時間を利用して、校門の外や大宮神社周辺の環境美化に取り組んだ。整った環境にすると同時に地域の方と交わすあいさつでつながりを実感できた。また、山鹿灯籠まつりの次の日には、ゴミ拾いに出て、地域の環境整備を行った。</p>

<p>記録</p>	<p>掃除中にぞうきんを洗うとき、バケツ を利用している</p> <p>7月</p> <p>1月</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■いつもできている ■ときどきできている ■あまりできていない ■全くできていない</p> <p>照明やエアコンの消し忘れをしていない</p> <p>7月</p> <p>1月</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■いつもできている ■ときどきできている ■あまりできていない ■全くできていない</p> <p>道具や薬品を指示通りに片付けたり処理していますか</p> <p>7月</p> <p>1月</p> <p>82% 84% 86% 88% 90% 92% 94% 96% 98% 100%</p> <p>■いつもできている ■ときどきできている ■あまりできていない ■全くできていない</p> <p>給食を残さず食べていますか</p> <p>7月</p> <p>1月</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■いつもできている ■ときどきできている ■あまりできていない ■全くできていない</p> <p>学校の花に関心を持っている</p> <p>7月</p> <p>1月</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■いつもできている ■ときどきできている ■あまりできていない ■全くできていない</p>	<p>年間を通して活動に取り組んだ。特に7月と1月末にとったアンケートをもとに分析していく。</p> <p>バケツを使用しての雑巾洗いについて、肯定的な回答が77%に向上した。照明・エアコンの電源管理については、87%であった。昼休み前に放送で、呼びかけが行われているため、管理を徹底しているクラスが多い。節水節電の意識は取組を通して向上していると見られる。</p> <p>道具・薬品の片づけ、処理については指示通りに実施ができている。</p> <p>給食を残さず食べる項目については、77%に向上し、学級で残菜を減らそうと意識をしている様子が見られたが、残菜がある日もあった。</p> <p>学校の花への関心についての項目は、7月も1月も60%を下回っていて低い。校内に設置した啓発ポスターの枚数は一番多く設置したが、意識の向上は見られなかった。</p>
<p>見直し</p>		<p>全体的には意識の向上が見られた。取組を通して、環境への意識が全校生徒の中で向上したと考えられる。子どもたちも達成感を感じていた。しかし、項目によっては値が低いものもある。そのため、全校生徒に「山鹿中学校の環境をもっと綺麗にするためには？」とアンケートをとった。結果をもとに、来年度以降の活動を見直し、計画していく。</p>

(2) 成果と課題

成 果	課 題
<p>環境保全へ向けた具体的活動を全校で行ったことにより、全体的に環境負荷の低減へ向けて意識の向上を図ることができた。地域の環境美化について、朝からのボランティアだけでなく、夏休みのボランティア活動にも多くの生徒が参加し、環境への意識の高まりが見られた。</p> <p>アンケート結果をもとに、意識が向上するための方法を子どもたち同士で考えさせることにより、子どもたちの目線で、取組ができたことが向上に繋がったのだと考える。取組を終えて、達成感を感じている生徒も見られた。来年度以降の活動にもつなげていきたい。</p>	<p>全校で環境 I S O の取組を行い環境美化への意識の向上が見られた反面、校舎内にゴミが落ちていることが続くなど、生徒や学級によって取組への意識の差が見られた。</p> <p>また、校内の花への意識の低さが目立つ結果となった。花の管理が環境委員の生徒が中心となって行っていた。意識向上のためには、全校生徒を巻き込んだ花に関する取組が今後は必要になると考える。</p> <p>また、具体的な数値目標を提示したが、エアコンの温度など目標の達成が困難である項目も見られた。宣言項目の見直しを行い、毎日の生活の中で、生徒や教員にとって快く意識向上に努められるような、持続可能な取組を行っていくことが求められる。</p>